

G.A.

整理番号 NTTH125973

発送番号 157384

発送日 平成15年 5月13日 1 / 2

拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願2000-278745
起案日	平成15年 5月 7日
特許庁審査官	角田 慎治 3048 5K00
特許出願人代理人	志賀 正武 様
適用条文	第29条第2項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記

請求項：1～31

刊行物：

1. 国際公開第99/41863号パンフレット
2. 特開平10-200495号公報

備考：

引用文献1に記載のように、クライアント側の低速信号を時分割多重し、時分割多重した信号を一波長として波長分割多重伝送することは周知技術に過ぎない。

そして、引用文献2の【0012】～【0013】段落に記載のように、SDH信号の信号フォーマットを光パスの信号フォーマットに変換する際には、新たなオーバーヘッドを付加することは周知である。

さらに、時分割多重する際には、スタッフ制御する必要性が生じることは自明であり、当業者であれば、新たなオーバーヘッドを使用して正負のスタッフ制御を行う事に格別の困難性を要しない。

発送番号 157384

発送日 平成15年 5月13日 2 / 2

拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

先行技術文献調査結果の記録

・ 調査した分野 IPC第7版 H04J3/00-3/26
H04L5/22-5/26

先行技術文献

1. 特開2000-41024号公報

(この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。)

この拒絶理由通知書について問い合わせがあるとき、または、この出願について面接を希望されるときは、以下までご連絡ください。

連絡先 特許審査第四部 デジタル通信
(電話) 03-3581-1101内線3554 (FAX) 03-3501-0699